

建替えにお困りの方はいませんか？

住宅の建替えについて、以下の助成制度があります。
助成に係る手続きを工事・設計の契約前に行う必要があるなど、各助成を利用するためには諸条件があります。まずはお気軽にご相談ください。

住宅の解体費用の助成制度

古い木造・鉄骨造の住宅について、耐震診断を受けなくても、解体費用の助成を受けられるようになりました。

▼解体に関する助成金額

最大 100万円 (面積単位による上限あり)

▼解体工事までの流れ (木造・鉄骨造の場合)



建替え助成制度

敷地が狭小である、道路に接していない等の理由により、単独で建替えができない敷地については、共同建替えという方法があります。共同建替えの際には、以下の助成を受けられる可能性があります。

▼共同建替えの主な助成内容

- ① 建物の設計費(2/3以内)
- ② 建物の取り壊し、整地費(2/3以内)
- ③ 建替え後の共同施設部分に要する整備費(2/3以内)



▲共同建替えの事例「江古田地区」

Information - お知らせ -

密集事業実施地区(貫井・富士見台地区等)に次ぐ危険性が懸念される地区として、富士見台駅南側地区を「防災まちづくり推進地区」に指定し、新たに防災性の向上を目指す取組を始めました。



練馬区 都市整備部
防災まちづくり課 貫井・富士見台地区担当
〒176-8501 練馬区豊玉北六丁目12番1号
☎ 03-5984-1429 (直通)
FAX 03-5984-1225 〓 BOUMACHI03@city.nerima.tokyo.jp
ボウマチゼロサン

当地区は公園が不足しています

防災性の向上を目的とした公園・緑地などを整備するため、候補地を探しています。引き続き、土地を売却する意向のある方からの用地情報を募集しています。

TOPICS

主要生活道路1号線の用地測量説明会を開催しました

2ページ下段に記載の用地測量の実施にあたり、令和2年11月18日(水)に関係権利者向けの説明会を行いました。

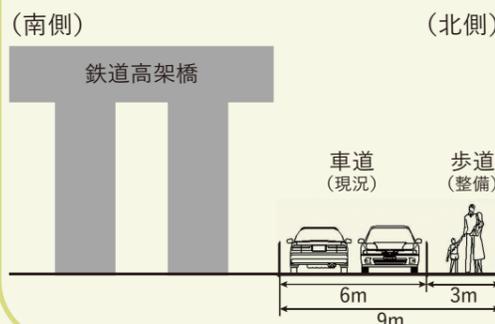
現在の本路線は歩行者・自転車・車両が輻輳しているため、歩道と車道を構造的に分離して、安全な通行空間を確保することを計画しています。

歩道の新設整備に向けて、今年度用地測量を行い、令和3年度以降の事業化を目指しています。

事業の概要

延長：約270m
幅員：9m(車道6m、歩道3m)

計画標準断面図



貫井・富士見台地区のまちづくりについては、区のホームページでも紹介しています！

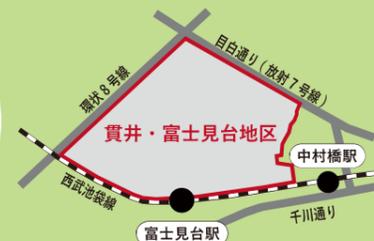
貫井・富士見台地区

貫井・富士見台地区

まちづくり通信

令和2年
12月発行

21号



【発行】練馬区 都市整備部 防災まちづくり課

日頃より、貫井・富士見台地区のまちづくりにご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。区では本地区において、災害に強く、安心・安全で住みよいまちの実現に向けて取組を進めています。このまちづくり通信は、地区のみなさまとまちづくりの情報を共有するために発行しており、今号では、以下の内容をお伝えします。

今号の内容

- ① 令和2年度第1回まちづくり委員会開催報告
- ② 令和2年度のまちづくりの取組について
- ③ 富士見台三・四丁目環八南地区まちづくり計画検討会を立ち上げました！
- ④ 建替えにお困りの方はいませんか？ / 当地区は公園が不足しています

令和2年度第1回まちづくり委員会開催報告

令和2年度第1回まちづくり委員会を令和2年7月21日(火)に開催し、14名の方に参加していただきました。委員会の議題は、以下のとおりです。

1. 令和2年度の取組予定について
2. 富士見台三・四丁目環八南地区まちづくり計画検討会の発足について
3. 防災まちづくり事業について



Q&A 主なご意見と区の見解 (抜粋)

Q1 今回具体的なまちづくりを検討する地区として、富士見台三・四丁目環八南地区(3ページ参照)を選んだ理由は？

現在事業中の四商通りの道路拡幅にあわせてまちづくりを行っていくとともに、四商通りから西側の富士見台エリアに幅6m以上の道路がないこと等を考慮し、今回の検討対象地区を選定しました。

もちろん、これでまちづくりは終わりではありません。貫井・富士見台地区はエリアが広いため、段階的なステップを踏んでまちづくりを進めていきます。

Q2 防災面について、建物自体をより耐火性の高いものに建替えてもらう方法を検討していく必要があるのではないかと？

都市基盤である道路や公園の整備とあわせて、建物自体の耐火性を高めることも、防災性の向上につながると考えられます。

道路整備などに加え、建替え・新築の際に、より耐火性が高い建物を建てるよう誘導する規制の導入などの取組も検討していきます。

令和2年度のまちづくりの取組について

貫井・富士見台地区は、老朽化した木造住宅が多く残るなど、防災性に課題を抱えているため、引き続き防災性の向上を目指したまちづくりを進めていきます。

令和2年度の主な取組は、以下の通りです。

まちづくりの検討

新規地区計画等の検討

富士見台三・四丁目環八南地区において、具体的なまちづくりのルールを検討するため、まちづくり計画検討会を設立しました。

詳しくは、3ページをご覧ください。

今後の基盤整備に向けた検討

これまでに取り組んでいる四商通りの整備などに続いて、今後行っていく道路・公園・富士見台駅周辺の交通施設等の整備について、関係機関との調整などを行い、検討を進めていきます。

建築物の共同建替えの検討

接道に課題がある敷地等について、共同化することで建替えに繋げ、建築物の不燃化を促進していく取組です。

検討箇所について、基礎情報の整理および意向調査を行います。

その他

貫井・富士見台地区全体のまちづくり事業の円滑な推進を目的として、まちづくり委員会を開催します。

また、地域の方々へ取組状況などを周知するため、まちづくり通信の発行等を行います。

道路整備の推進

生活幹線道路A路線（四商通り）の拡幅整備

右図青色路線について、用地取得を進めています。現在の用地取得率は、北側区間で7割弱、南側区間で2割強です。取得した箇所は、暫定的に舗装を行い、歩行者が通行できるように開放していきます。

（新規路線）主要生活道路1号線の用地測量

右図赤色路線の拡幅整備に向けて、取得する事業用地の面積を確定するための用地測量を実施します。

4ページ TOPICS へ



富士見台三・四丁目環八南地区

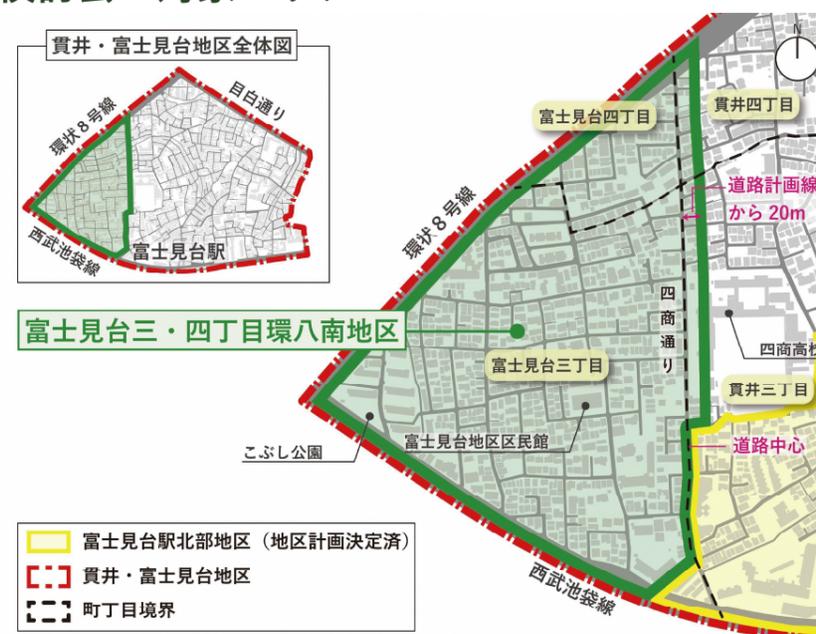
まちづくり計画検討会を立ち上げました！

この度、富士見台三・四丁目環八南地区（下図参照）を対象に、安心・安全で住みよいまちの実現に向け、町会・商店会等から推薦された方と公募により選任された方から構成される、まちづくり計画検討会を立ち上げました。

検討会では、地区計画制度の学習や意見交換を通じて、まちの課題を整理し、地区計画の基となる「まちづくり計画」の検討会案の作成を目指しています。

今後は、検討会の開催に加えて、地区内にお住まいの方へのアンケート調査などを行う予定です。その結果も踏まえながら「まちづくり計画」の検討会案を取りまとめ、区へ提案していきます。

検討会の対象エリア



※委員会・検討会等は、新型コロナウイルスの感染予防に配慮した上で開催しています。

今後のスケジュール



検討会設立～課題への取り組みの検討

- ・まちづくり、地区計画についての学習
- ・まち歩きとまちの課題の共有
- ・課題への取組の検討

まちづくり計画の検討～検討会案の作成

- ・地区計画の基となるまちづくり計画の検討
- ・まちづくり計画の検討会案の作成および区への提案

※開催時期は現時点での目安です。新型コロナウイルスの感染状況等によって変更する場合があります。